

第 5 次肝付町行政改革大綱概要案

I. 計画期間

本大綱の計画期間は、令和 9 年度から令和 13 年度の 5 年間とします。

II. アクションプログラムの策定

前大綱と同様に大綱に基づく行政改革を着実に推進するため、基本方針に沿った具体的な取組や達成時期、目標等を設定したアクションプログラムを策定します。

III. 推進体制と進捗管理

町長を本部長とする肝付町行政改革推進本部（経営戦略会議）により、全庁的な行政改革に関する共通認識の浸透を図り、進捗状況等の共有及び重要事項や組織横断的な検討を行うことで、アクションプログラムの進捗管理をしていきます。

また、町内の各団体代表者や有識者にて構成する肝付町行政改革推進委員会により、各年度の取組実績を翌年度報告し、提言や助言等を受けることで着実な取組推進を図ります。

これらの取組実施状況は、毎年度公表するとともに進捗状況や社会情勢の変化、町民ニーズ等を踏まえ、取組内容の改善や見直し等を図ることで、実効性のある行政改革を推進します。

IV. 行政改革の基本方針

改革の推進にあたっては、次の 4 つの基本方針に沿って取り組みます。

1. 財政健全化と町有財産等マネジメントの推進

人口減少や高齢化の進行が依然として大きな課題である中、大きく変化する社会経済情勢に効率的・効果的な適応を行うための財政運営改革に取り組むことで、歳入規模に見合った適正な予算執行を目指します。

町有財産等の全庁的なマネジメントを図ることで、公共施設の効率的な運用や町有財産の有効活用を推進していきます。

2. 効率的・効果的な行政運営の推進

効率的な業務見直しや、庁内外問わないデジタル化の推進により、効果的な行政サービスを生み出す体制を構築することで、限られた経営資源の最適配分を図り、効率的・効果的な行政運営の推進を図ります。

3. 住民サービスの向上と協働のまちづくり

高度化・多様化する住民ニーズに対し柔軟な対応を行い、より利便性の高い住民サービスの向上を図ることで、官民一体の協働したまちづくりを目指します。

4. 組織運営の最適化と人材育成

よりよい組織を運営していくために最も重要な経営資源は「職員」であることから、職員一人一人が最大限の能力を発揮できる職場環境づくりと育成体制の充実を推進するとともに、人口推移や業務量変化を踏まえた適正な定員管理を行い、持続可能で効果的な組織運営を目指します。

V. 行政改革の推進項目

基本方針ごとに取り組むべき事項を推進項目として位置づけ、体系的に改革を推進します。

1. 財政健全化と町有財産等マネジメントの推進

1-1 予算のスリム化と歳入確保対策

①新規事業評価【継続見直し】

新規事業を開始する際には、「新規事業目標設定シート」にて予め目標年度を設定し、事業の達成目標と効果を掲げた上で、増加する業務量に見合う事業削減の検討を必ず行う。各年度における進捗状況を把握していきながら、目標年度にはその達成状況から事業評価を行い、今後の事業方針を決定する。

【取組事項案】

- ・「新規事業目標設定シート」による進捗状況の把握と事業評価
- ・新規事業の業務量増に見合う事業削減の検討

②事務事業スクラップ検討【継続】

翌年度当初予算編成に際し、各所管課にて事務事業スクラップの検討を行い、「事務事業スクラップ提案シート」の作成を行う。政策調整会議において廃止の可否を審議し、事業廃止・見直しを決定した場合は、次年度の当初予算に反映する。

【取組事項案】

- ・「事務事業スクラップ提案シート」による検討

③補助金等の見直し検討【新規】

補助金等見直しガイドラインにより、毎年度「補助金等点検シート」にて必ず点検を行い、実情に見合った補助額に見直す等の方向性を決定する。団体運営費補助に該当する補助金に限っては、交付決定の際は指針に従って適正な交付額の決定を行う。

【取組事項案】

- ・「補助金等点検シート」による見直し検討

④町税等の収納率向上【継続】

自主財源を確保するために町税等収納率の年度目標を設定し、縦割りの業務区分にこだわることなく関係課の連携を強化し、様々な情報の共有や窓口での収納に関するワンストップ対応力を高めるなど、様々な取り組みを行いながら、収納率向上に努める。

【取組事項案】

- ・町税等の収納率年度目標の設定（対象科目要検討）

⑤ふるさと納税の取り組み強化【継続】

ふるさと納税による財源確保のために地域商社と連携しながら寄附獲得の取り組み強化に努める。

【取組事項案】

- ・目標値設定（目標値項目要検討）

⑥基金の効率的運用による自主財源確保【継続】

安全かつ効率的な資金運用手法への転換による、安定的・効果的な自主財源の確保に努める。

【取組事項案】

- ・資金運用手法の検討（前大綱は運用件数を目標値設定）

⑦医療費等抑制による町費負担軽減【新規】

特定健診やがん検診の受診率向上により、疾病の早期発見や重症化予防につながると考えられ、医療費や介護サービス費を抑制できることで、町の財政負担を軽減を図る。

【取組事項案】

- ・受診率目標値設定

1－2 町有財産の有効活用と公共施設等のマネジメント強化

①公共施設等マネジメント検討委員会による全庁的・横断的な検討体制推進【新規】

施設所管課にて構成する検討委員会で、所管課のみの判断によらない全庁的・横断的な検討体制を構築することで公共施設等のマネジメントを推進する。

【取組事項案】

- ・施設検討数の目標設定（要検討）

②町有財産有効活用の加速化【継続】

未利用財産の有効活用方法を検討し、売却や貸付、譲渡等による活用を推進し、建物においては解体も視野にいたした跡地活用を検討するなど、より有効な活用を加速化する。

【取組事項案】

- ・運用数もしくは運用益の目標値設定（要検討）

③公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく更新費用の縮減【継続見直し】

施設の統廃合や複合化等を踏まえ、将来的な更新費用の縮減に努める。

【取組事項案】

- ・計画に基づく目標値設定

1－3 公営企業の健全運営

①水道事業経営の健全化【継続】

「肝付町新水道ビジョン」及び「肝付町水道事業経営戦略」に基づき、水道事業経営の健全化を推進する。

【取組事項案】

- ・策定済みの目標に基づく取組

②町立病院事業の健全化【継続】

常勤医師の確保に努め、町立病院事業の健全化を推進する。

【取組事項案】

- ・前大綱は常勤医師数の目標値設定

2. 効率的・効果的な行政運営の推進

2-1 効率的な業務見直し

①業務手順書データ化による業務フローの見直し【新規】

業務手順書の完全データ移行化により全ての業務フローを可視化することができ、E C R S（排除・統合分離・交換・簡素化）の視点から、効率的な業務改善を図る。

【取組事項案】

- ・フロー見直し数の目標値設定（要検討）

②新たなデジタル技術導入による業務の効率化【新規】

生成A Iなどの新たなデジタル技術の導入を積極的に検討しながら、業務の効率化を推進する。

【取組事項案】

- ・音声入力ソフトや生成AIを活用した記録のデジタル化推進

2-2 庁内外問わないデジタル化の推進

①ペーパーレス化の促進【継続見直し】

庁内におけるペーパーレス化を推進するとともに、住民等庁外向けのペーパーレス化も積極的に取り組む。また、ペーパーレス化が困難な業務においては、最適な運用方法の検討を行う。

【取組事項案】

- ・住民向け通知等のペーパーレス化の件数

②住民向けお知らせのデジタル化検討

振興会回覧のデジタル化など住民に対するお知らせのデジタル化を検討する。

【取組事項案】

- ・健診時の問診票や各種申請書のデジタル化（スマホ・タブレット端末等の活用）推進
- ・デジタル化件数の目標値設定

2-3 より効果的な行政サービスを生み出す体制構築

①行政デジタル化推進体制の充実化【継続】

各課のデジタル推進担当で構成する行政デジタル化部会を中心としてデジタル化推進体制の充実を図る。

【取組事項案】

- ・デジタル化推進件数目標値設定

②効果的な行政サービスの検討【新規】

全庁的な検討を行う場としてプロジェクトチームを構築することで新たな行政サービス導入を検討する。

【取組事項案】

- ・新たな行政サービスの件数

3. 住民サービスの向上と協働のまちづくり

3-1 満足度の高い住民サービスの提供

①行政手続・サービスのオンライン化の促進【継続】

住民にとって利便性が高いと考えられる行政手続・サービスのオンライン化を促進することで、住民サービスの充実を図る。

【取組事項案】

- ・住民サービスオンライン化数の目標値設定

②質の高い住民サービスの提供【新規】

急激なデジタル化に対応できない方に対しては、従来のアナログ方式により対応しつつ、デジタル化のメリットをわかりやすく説明し、デジタル化を促すことで、質の高い住民サービスの提供を推進する。

【取組事項案】

- ・アナログ面での住民フォロー対策

3-2 地域コミュニティの充実

①地域コミュニティの充実化【継続】

引き続き未設置地区の地域コミュニティ協議会の設立支援を行い、充実化を図る。

【取組事項案】

- ・全地区設置の目標値設定

②集落支援員の配置検討【継続】

地域の実情を把握し、必要に応じて集落支援員配置の検討を行う。

【取組事項案】

- ・支援員配置数の目標値設定（要検討）

3-3 行政情報発信の機能強化

①新たな情報発信の方法検討【新規】

現行の情報発信の方法に加え、新たな有効的な手段を模索し、検討を行う。

【取組事項案】

- ・新たな有効手段の導入目標件数設定

②広報機能の充実【継続】

常に新しい情報提供を心掛け、住民に分かりやすい積極的な情報発信を行うことで充実させる。

【取組事項案】

- ・ホームページ更新回数の目標値設定

4. 組織運営の最適化と人材育成

4-1 組織・機構の見直しや専門人材の確保を含めた適正な職員配置

①職員数の適正管理【継続】

定員管理計画に基づく職員数管理に併せて、デジタル化や行政システムの標準化による業務内容や体制の変化を把握しながら適正な人員管理に努める。

【取組事項案】

- ・職員数の目標値設定

②時代の変化に適応する組織・機構の見直し【継続】

日々動いていく時代に適応するために随時組織・機構の見直しを行う。

【取組事項案】

- ・組織・機構見直し件数の目標値設定

③専門人材の確保・育成【新規】

採用方法の見直しを含め、専門性の高い職務経験者の確保に向けた取り組みを検討する。

また、確保した人材が専門性を高めるための研修や異動等による育成方法を検討する。

【取組事項案】

- ・人材確保に向けた取組設定

4-2 快適な職場環境の構築

①働き方改革によるワークライフバランスの向上【継続】

年次有給休暇や男性職員の育児休業の取得促進、及び時間外勤務削減に向けた取り組みを継続しつつ、フレックスタイムの導入など時代に見合った勤務形態導入の検討を行う。

【取組事項案】

- ・前大綱は、年次有給休暇や育児休業の取得率に対する目標値設定

②職場環境の最適化【新規】

フリーアドレス制導入等の検討を行いつつ、健康相談や窓口対応での住民のプライバシー（個人情報・健康情報）を守るための相談ブースや個別スペースの確保に配慮するなど、町に最適な職場環境の構築を図る。

【取組事項案】

- ・最適な職場環境構築に向けた取組設定

③職員の心と体の健康保持対策の推進による快適な職場づくり【継続】

メンタルヘルス体制の充実を図る。

【取組事項案】

- ・メンタルヘルス研修実施回数の目標値設定

4-3 計画的な職員研修等の実施

①スムーズな業務遂行を目指した研修の実施【継続】

急激なデジタル化に対応するための研修等、スムーズな業務遂行を目指した研修を随時行う。

【取組事項案】

- ・ 研修実施回数の目標値設定

②能力向上に必要な研修参加の推進【継続】

職員個々の能力向上に必要な研修等への参加を推進していく。

【取組事項案】

- ・ 研修参加を推進するための取組検討